

補助金見直し基準チェックシート（第2次実行計画）

72

農林水産課

補助金の名称 (規則・要綱名)	いちじくスクール事業費補助金		
	農林水産関係事業補助金交付要綱		
補助事業の概要 及び交付先	いちじく産地振興のため、いちじくスクールに対して補助する。交付先: 西三河農業協同組合		
補助金の額	平成28年度決算	平成29年度予算	平成30年度予算
	400,000円	400,000円	380,000円
分類	形態による分類	期間による分類	目的・性格による分類
	市単独補助金	継続的補助金	事業費補助金
交付期間	開始年度	H28	終了年度(予定) H32
見直し基準 1 共通事項	ア 社会情勢の変化により補助目的は適切か		適切
	イ 市が補助すべきものか		補助すべきもの
	ウ 補助対象となっている経費の使途は明確か		明確
	エ 会計処理・実績報告が正確に行われているか		適切(2017/03/31受理)
2 個別事項 (1) 団体運営費	ア 少額の補助金か		*****
	イ 翌年度繰越金は補助金の額を上回っていないか		*****
	平成26年度繰越金	平成27年度繰越金	平成28年度繰越金
	0円	0円	0円
	ウ 食糧費・旅費の割合は30%をこえていないか		*****
	エ 事業費補助金に切り替えられないか		*****
	※ 検討していない理由	*****	
(2) 補助対象経費	補助対象経費の3分の1以内か		3分の1以内である
	※ 補助対象経費の額	1,233,526円	
(3) 人件費補助金 (積算内訳)	*****		
3 今後の方向性			
4 終期の設定	補助金交付要綱等に終期を設定しているか		設定している

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

72

農林水産課

補助金の名称 (規則・要綱名)	いちじくスクール事業費補助金 農林水産関係事業補助金交付要綱	
①総合計画施策コード	章による分類	1 産業振興 活力と魅力あふれる産業づくり
	項による分類	4 農・水産業
	施策内容による分類	4 担い手の育成
②市長マニフェスト		
③補助の終了年度までの目標を記載してください。 (可能な限り数値的な目標を記載)	いちじくの新規就農・栽培技術の習得を目指す方をJA西三河いちじくスクールの研修生として、実質的な農業研修と就農支援を行う。現在市内のいちじく部会員が51名で、その内いちじくスクール修了生は13名であるが、部会員を60名、修了生を20名にし全体の若返りを図り、西尾市をいちじくの一大産地とすることを目標としている。	
	上記目標は、適切な目標が設定されているか。	設定されている
④目標に対する進捗状況及び進捗率を記載してください。	平成27年度 17名 うち新規就農者5名 平成28年度 17名 うち新規就農者4名 平成29年度 9名 うち新規就農者4名 平成30年度 5名の研修生が学んでいます。	
	補助の終了年度までの目標を達成できているか。	目標達成
⑤補助の恩恵を受ける人(受益者)を記載してください。	新規就農者、消費者	
	市税の使い道として、受益者に偏りはないか。	偏りはない
⑥補助金の交付先を記載してください。	西三河農業協同組合	
⑦社会ニーズ、優先度、補助の効果、メリットなどについて記載してください。	生産者の高齢化が進む中、対策として新規就農・栽培技術の習得を目指すいちじくスクール事業を行うことで、将来を担う若い生産者が増え、部会の若返り及び地域の活力の増加に繋がる。また、輸入の心配がなく、栽培面積当たりの所得が多い育てやすい果物であるため、未経験者の非農家であっても生産者になりやすいというメリットがあるので、市としても一大産地を目指すために優先的に補助をしていきたい。結果として、良品質ないいちじくを安定して消費者に届けることができる。	
	上記内容は、公益性の観点からどうか。	メリットがある
⑧補助団体等の補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などを記載してください。	補助金の使途: 圃場借地費、生産資材費、研修費等 申請金額の根拠: 事業計画書 財政状況などの確認方法: 実績報告書を提出してもらい、活動内容、決算内容について確認している。	
	上記内容は、補助金の交付先として適格か。	適格である
⑨要綱等の制定年月日は何時ですか。	制定年月日	平成17年04月01日
	改定年月日(最終)	平成30年04月01日

補助金見直し基準補足調査票 (第5次実行計画)

72

農林水産課

項目		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	
補助金の額等	補助金支出額	400,000円	400,000円	380,000円	
	補助件数				
	財源	国庫県費			
		その他			
		一般財源	400,000円	400,000円	380,000円
国庫県費等の名称					

補助金等検討委員会の評価

目標	達成度	公平性	公益性	妥当性	効率性	適格性
成果目標(指標)は適切な目標(指標)か。	目標を達成できているか。実現に近づいているか。	受益者は、公平性の観点から偏りはないか。既得権益化していないか。	社会ニーズ、優先度、補助の効果などは、公益性の観点からどうか。	成果を下げることなく、他の主体・実施方法を検討する余地はないのか。	手法改善等により、成果を下げずに効率的な交付となっているか。	補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などは、適格性の観点からどうか。
B	C	C	B	C	C	C
評価結果	補助金等検討委員会		補助金検討委員会からのコメント			
	見直し		市からの補助の期限を明確にし、補助団体の自立を促すようにしていただきたい。			
補助金等検討委員会の主な意見						
新規就農者を開拓し、その後も農業を継続しており、良い取り組みと考える。						
ブランド名の普及には時間がかかるので、ネーミングはよく検討していただきたい。						